

わくわく農業体験塾 スタート ～夏野菜の収穫に笑顔～



講師役の齊藤次男さん（深谷）の指導を受け、サヤインゲンなどを収穫しました

野菜づくりを体験しながら村民同士の交流を図り、充実した時間を楽しむことを目的とした「わくわく農業体験塾」がスタートし、7月3日、初めての収穫作業が行われました。

塾生は現在11人です。農業未経験の人も多く、自分で収穫した作物に思わず笑みがこぼれていました。塾では今後、収穫した作物を使った料理教室等も開いていく予定です。「わくわく農業体験塾」では引き続き新規塾生を募集中です。お問い合わせは、生涯学習課 ☎0244-42-0072まで。

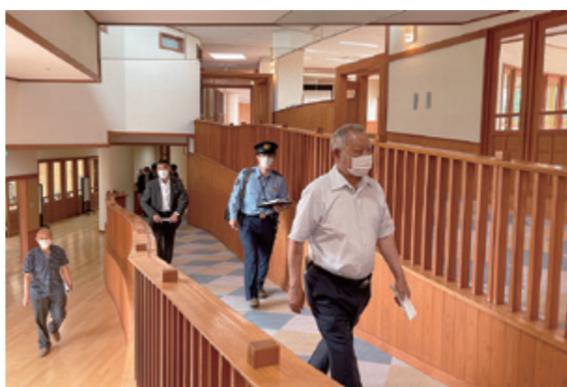
犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える 安全で安心な明るい地域社会へ

7月1日、第71回『社会を明るくする運動』内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われました。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めるとともに、それぞれの立場で力を合わせて犯罪のない明るい地域社会を築くための全国的な運動です。この日は4人の村の保護司が来庁し、代表で石井せんさん（白石）が内閣総理大臣からのメッセージ状を杉岡村長へ手渡しました。今後も保護観察や非行防止の活動を続けます。



内閣総理大臣からのメッセージ状を読み上げる石井さん。村のために取り組みを続けます

飯館村防災センター 施設が完成 内覧会を開催



感染症対策のため2班に分かれてセンター内を見学。担当者が施設の機能を説明しました

「飯館村防災センター」が完成し、7月15日、関係者と地域の皆さんを対象に内覧会を行いました。このセンターは、旧飯樋小学校を改修し、大規模災害時には避難所となる施設として整備されました。備蓄庫や太陽光発電設備などを備え、屋内と屋外野営場を合わせて約330人の受け入れが可能で、また、センター内には、村の震災復興記録を展示・公開するコーナーを設けています。内覧会に先立ち杉岡村長があいさつし、「防災力を高めると共に地域コミュニティでも活用を」と期待を述べました。

ハヤシ製作所から村社協へ 体温測定顔認証カメラを寄贈

7月1日、ハヤシ製作所（白石）が、飯館村社会福祉協議会に、「体表面温度測定顔認証カメラ」一式を寄贈しました。このカメラによる体表面温度の測定時間はわずか0.2秒。顔認証カメラを兼ねていて、画像を来場履歴として活用することもできる最新式です。林武志社長が「健康と福祉に役立てていただきたい」と、齊藤修一村社協会長（深谷）に目録を手渡し、齊藤会長が多岐にわたる貢献に感謝を述べました。また、ハヤシ製作所と、この寄贈をサポートした東邦銀行には、村社協から感謝状が贈られました。



右からハヤシ製作所の林勝専務、齊藤会長、同製作所の林武志社長、森谷信弘東邦銀行川俣支店長

いいいてパークゴルフ場で 老人クラブが大会を開催



あちらでもこちらでも、コースに笑顔があふれていました。交流もプレーもはつらつと

7月18日、「いいいてパークゴルフ場」で、第10回「飯館村老人クラブ連合会パークゴルフ大会」が開かれました。菅野茂会長（関根・松塚）は「待望の村内開催。村の自然を楽しみながらプレーしましょう」とあいさつ。約90人が熱戦と交流を楽しみました。夏の青空の下で、プレーも白熱。男子の部では菅野正男さん（宮内）、女子の部では北山文子さん（飯樋町）が優勝しました。



杉岡村長（左）もパークゴルフデビュー！

新たな人権擁護委員へ 思いが受け継がれます

7月5日、法務大臣感謝状及び新任人権擁護委員委嘱状伝達式が行われました。式では初めに、菅野茂さん（関根・松塚）に感謝状が伝達されました。菅野さんは9年3か月にわたり委員を務め、各種啓発活動に大きく貢献されました。その後、教職員の経験をもつ和田憲昌さん（白石）に委嘱状が伝達されました。杉岡村長は、「人権擁護委員の活動が村民の安心安全な暮らしに結びついている。一人ひとりが尊重し合える飯館村を支えてほしい」と思いを述べました。



式は村役場で行いました。左から吉田隆好福島地方務局相馬支局長、菅野さん、和田さん、杉岡村長